

ななむゐ

第80号
発行：照来地区公民館
責任者：館長
☎ 92-1738

令和4年2月1日現在
世帯数 521世帯
人口 1,434人
(男671人、女763人)

照来地区公民館の来年度事業計画作成時期に！

令和4年度事業の要望をお願いします！

早いもので、令和3年度も残すところ1カ月余りとなり、照来地区公民館の来年度（令和4年度）事業計画を立てなければならぬ時期となりました。

新型コロナウイルスの感染状況によりますが、終息していることを前提に計画を立てたいと考えています。とはいえ、事業もマンネリ化している状況にあり、何をしようか今悩んでおります。そこで、皆さまから「こんな事業をしてほしい！」「開催日時はこんな時が良い！」「開催場所はどこかが良い！」等何でも結構ですからご意見・要望をいただければ幸いです。

ご意見・要望のあります方は、3月20日（日）までに館長または各地区の協力委員さんに連絡ください。よろしくお願いたします。

ちなみに、私が今できたらいいなと思っている事業があります。それは、「スタンプラリー」で、次のようなものを考えています。ただ、多くの皆さんの協力が必要となりますので、できるかどうかわかりませんが・・・。

「ぐるっと照来！スタンプラリー」（案）

■目的

照来地区の皆さんの健康増進と照来の魅力を再発見すること。そして何よりコミュニケーションの場とする。

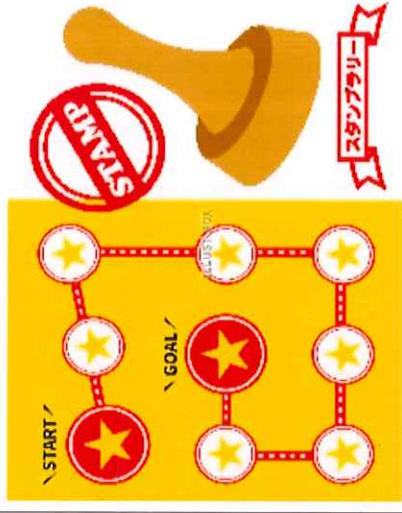
■内容

照来地区公民館をスタートし、照来7集落の公民館または各所に置いてあるスタンプを押して、全て揃ったら照来地区公民館に帰って来るというものです。

タイムレースではありませんが、無制限ではなく時間制限はします。

できれば、各地区公民館で「もぐもぐタイムム」として何か簡単な食べ物が提供できればおもしろいかと思います。

ぐるっと照来！スタンプラリー



東京都心大雪で混乱!大雪の定義って？

先日、関東地方に大雪が降り、東京都心では交通機関に影響が出て混乱したとニュースになっていました。照来に住む我々からすれば「うっすら積もったくらいで何が大雪？」と言いたくなりますよね。

そこで、「大雪」の定義について調べてみました。

気象庁の天気予報等で用いる用語でいう「大雪」とは、「大雪注意報基準以上の雪」とありました。大雪注意報とは、降雪や積雪による住家等の被害や交通障害など、大雪により災害が発生するおそれがあると予想したときに発表されるものです。具体的ではないので、気象庁の「警報・注意報の発表基準」を見ると、下表のような基準でした。どうも、地域ごとに違うようです。

従って、東京で12時間の降雪が5cm以上であれば「大雪」になるようです。また、照来で30cm以上だと「大雪」になります。ちよっと我々の感覚とずれているように感じますが、これが気象庁の「大雪」の定義のようです。

	大雪注意報 12時間の降雪の深さ	大雪警報 12時間の降雪の深さ
但馬北部	30cm	50cm
但馬南部	30cm	50cm
阪神（平地）	5cm	10cm
阪神（山地）	10cm	20cm
東京23区	5cm	10cm
鳥取（平地）	15cm	25cm
鳥取（山地）	25cm	40cm



3月の行事予定

■メデイカルヨガ教室

日時:3月15日(火) 19:30~

場所:照来地区公民館



■照来地区公民館推進委員会

日時:3月25日(金) 19:00~

場所:照来地区公民館

第2回照来検定作ってみました!

1月、2月の照来地区公民館事業は、基本的に積雪があるため行っていない。

それでは館長の職務怠慢になりますので、2回目となる「照来検定」の問題を別紙のとおり作成してみました。

挑戦してみてください。

北京オリンピックが閉幕!

先日20日(日)北京オリンピックが閉幕しました。今回のオリンピックは、何とも不可解な判定や採点、スーツの規定違反続出、ドーピング問題等々あり、スツキリしないものとなりました。

そんな中、日本は冬季五輪過去最高の18個のメダルを獲得し、我々にたくさん感動を与えてくれました。また、今回はメダルに一步届かなかった選手からも数多くの感動をいただきました。皆さんはどんなシーンに感動しましたか?

私は感動というか印象的だったのが、カーリング女子「ロコ・ソラーレ」の予選終了後の記者会見です。準決勝に進出できないと涙の絶望会見を行っている最中に、準決勝進出の報が記者から伝えられたときに「今世紀最大のサプライズ」と言っていて喜びの涙に変わったシーンです。

「笑うということは、諦めないという決意」

「笑うということは、諦めないという決意」これは、北京オリンピックカーリング女子日本代表の「ロコ・ソラーレ」吉田知那美選手の座右の銘です。

「ロコ・ソラーレ」といえば「笑顔」がトレードマークですが、このオリンピックも試合前から試合中、そして試合が終わってからも絶えることのない笑顔を見せ、「こんなチームどこにもいない」と世界中から称賛されました。

特に吉田選手は、どんな場面でも笑顔でプレーし、他の選手がミスをして笑顔で励ましていました。

最高のチームワークで、諦めない気持ちで笑顔に込めて、銀メダルを獲得しました。「笑顔」のパワーです。

私もスポーツをやっていましたのでよくわかるのですが、試合中に相手が笑顔でいるとこちらが勝っていても負けているように感じたものでした。

照来の歴史(34) ~疑問4~ 『宴の清水を温泉城に』

照来地区公民館だより第45号で桐岡の「宴の清水」について紹介しましたが、『あの城山(温泉城)って... (略)』その天守に使う水は、宴の清水からひいておったという伝説です。』と書かれていたことを覚えていますか?

おかしいと思いませんか? 温泉城の天守のあった白毫山は標高338m、宴の清水のある辺りは260mです。78mも高い白毫山にどうやって宴の清水から水を引いていたのでしょうか。今でしたらポンプアップもできるのでしょうか。

調べて見ると「温泉考」に『温泉城は要害堅固な城で中々落ちなかったが、宴の清水からの水を断られたことで落城した。』とありました。この記述からすると宴の清水から引いていたことになりません。疑問では、どうやって引いたのか私なりに考えて見ました。

一般的な山城の水源は、①城内に井戸を掘る。②城外から水路や樋で引き入れる。③湧水や雨を溜める溜井等です。伝説からすると②の城外から水路や樋で引き入れていたものと思われまます。ある史料に『南側斜面の中腹にかなり広い平坦面があり「館跡」の可能性がある。』とありました。この平坦面に館があったとする場所の標高が、230m~260mです。

私の推測ですが、この場所に溜井をつくり宴の清水の水をそこに溜めていたのではないかと考えました。そうすれば、宴の清水との高低差もあり水は流れてきます。しかし、そこから天守までどうやって運んだのかということになります。疑問です。誰か知りませんか?

